

実績確認概要書

平成 29 年 11 月 2 日
ビューローベリタスジャパン株式会社

1. 排出削減事業の概要

排出削減事業名	A 重油ボイラ及び灯油ボイラから木質バイオマスボイラへの更新プロジェクト
承認番号	KC0925
排出削減事業者名	上北森林組合
排出削減共同実施事業者名	株式会社 FT カーボン (その他関連事業者名：なし)
事業実施場所	木材加工センター (住所：〒034-0301 青森県十和田市大字奥瀬字生内 268-1)
事業の概要	A 重油ボイラ 2 基及び灯油ボイラ 1 基を木質バイオマスボイラ 1 基へ更新する。木質バイオマスを使用することによって、CO2 排出量を削減する。
排出削減量の計画	2013 年度 1,698tCO2/年 2014 年度 1,698tCO2/年 2015 年度 1,698tCO2/年 2016 年度 1,698tCO2/年 2017 年度 1,698tCO2/年 2018 年度 1,581tCO2/年 (J-クレジット事業実施期間合計 10,071tCO2)
クレジット認証期間	事業開始日 2011 年 3 月 7 日 終了予定日 2019 年 3 月 6 日
排出削減方法論	方法論番号 001 「ボイラーの更新」

2. 本実績確認の対象期間

2016 年 1 月 1 日～2017 年 3 月 31 日 (第 5 回目実績報告)

3. 実績確認結果

本実績報告期間における排出削減量は、承認排出削減事業計画に従ってモニタリングされた結果に基づき算定されており、適正である。

排出削減量	1,588 tCO ₂ (2016年1月1日～2017年3月31日)
-------	--

4. 実施した実績確認手続きの概要

以下の実績確認手続きにより、報告された排出削減量に重大な誤りがないことを確認している。

要件	実績確認手続き
排出削減量が承認排出削減計画に従って実施した結果生じていること	<p>1) 開始日の確認（初回実績確認の場合） 第5回目の実績確認のため、該当なし</p> <p>2) 対象期間中の設備稼働確認 導入したバイオマスボイラは実績確認の期間中継続的に稼働していることを、本実績報告対象期間におけるボイラ運転日誌、水質分析記録等により確認した。</p>
排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていること	<p>1) モニタリング方法の確認 関係者へのヒアリング、ボイラ給水量、ブロー率、蒸気・給水の比エンタルピー等の記録の確認等により、承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画通り、バイオマスボイラの運転に関するモニタリングが実施されていることを確認した。</p> <p>2) 活動量の正確性 関係者への質問、記録の確認により、承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画通り、ボイラ給水量、ブロー率、蒸気・給水の比エンタルピー、実施前のボイラ効率等の記録の保存が適切になされており、正確に集計されていることを確認した。</p> <p>3) 単位発熱量、排出係数等の係数の確認 使用されている単位発熱量、排出係数等が J-クレジット制度・モニタリング・算定規程(排出削減プロジェクト用)Ver2.8 及び承認排出削減事業計画通りであることを確認した。</p>

	<p>4) 排出削減量算定方法及び算定結果の確認</p> <p>事業実施後排出量、ベースライン排出量、リーケージ排出量、排出削減量の算定結果を根拠資料と突合、方法論の定めた計算式との照合、計算過程の確認、再計算等を実施した結果、排出削減量の算定結果が正確であることを確認した。</p>
算定期間が 2019 年 3 月 6 日を超えないこと	<p>本実績確認の対象期間は、2016 年 1 月 1 日から 2017 年 3 月 31 日までであり、排出削減量を算定した期間が 2019 年 3 月 6 日を超えないことを確認した。</p>

5. 承認排出削減事業計画からの重要な変更点についての評価（該当する場合）なし。

6. 特記事項

排出削減量に相当する再生可能エネルギー量は、熱量換算 23,633 GJ であることを確認した。

前回比 50%減となったが、理由は、2016 年 5 月以降、ボイラーの稼働率を 18 時間から 9 時間に変更したこと及び 2016 年 9 月～11 月はボイラーを停止した事による。

以上